



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月1日

上場会社名 株式会社あじかん 上場取引所 東  
 コード番号 2907 URL <https://www.ahjikan.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 足利 直純  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 森屋敷 登 TEL 082-277-7010  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	11,822	5.5	140	20.2	393	△1.7	274	8.2
2023年3月期第1四半期	11,201	6.6	116	—	400	—	253	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 386百万円 (△0.3%) 2023年3月期第1四半期 387百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	36.04	—
2023年3月期第1四半期	33.32	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	25,867	14,422	55.8	1,894.93
2023年3月期	25,102	14,157	56.4	1,860.14

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 14,422百万円 2023年3月期 14,157百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2024年3月期	—				
2024年3月期（予想）		0.00	—	15.00	15.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	24,000	4.7	230	△6.4	350	△52.6	250	△49.0	32.85
通期	50,000	5.4	450	405.4	600	28.7	370	38.1	48.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日（2023年8月1日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	7,700,000株	2023年3月期	7,700,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	89,053株	2023年3月期	89,053株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	7,610,947株	2023年3月期1Q	7,610,947株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用や所得環境が改善する中、停滞していた景気の緩やかな回復が期待される状況となりました。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化や円安進行による物価上昇に加え、金融資本市場の変動、世界的な金融引き締めによる景気回復の下振れリスクも台頭しており、先行き不透明な状況で推移いたしました。

食品業界におきましては、資源価格の高騰や円安進行によって仕入価格や諸経費が高騰しており、厳しい経営環境で推移いたしました。また、前連結会計年度において、過去に類を見ない規模の鳥インフルエンザが発生したことに伴い、鶏卵価格が高値で推移した結果、鶏卵を扱う企業にとっては非常に厳しい経営環境となりました。

このような状況の中、当社グループは、『需要創造型食品メーカーへの挑戦』および『利益構造改革と経営品質の向上』をテーマとした第12次中期経営計画の最終年度をスタートさせ、第一に「利益構造改善への取り組み」、第二に「業務用食品事業の成長拡大」、第三に「ヘルスフード事業・海外事業の拡大および新規事業構想の立案」、第四に「経営品質の向上」を重点施策とした取り組みを展開してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は11,822百万円（前年同四半期比5.5%増加）となり、前年同四半期実績を上回りました。一方、利益面につきましては、当社主要原材料である鶏卵価格が高騰していることや、エネルギーコスト上昇などもありましたが、売上高の拡大効果に加え、徹底的な諸経費抑制に努めた結果、営業利益は140百万円（前年同四半期比20.2%増加）となりました。経常利益は、デリバティブの時価評価益や為替差益などにより393百万円（前年同四半期比1.7%減少）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は274百万円（前年同四半期比8.2%増加）となりました。

報告セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

#### ①業務用食品等

販売面におきましては、鶏卵原料の供給制限に伴う玉子製品の販売抑制などの影響もありましたが、玉子製品や海外調達品などの販売価格見直しに加え、野菜加工品、自社企画ブランド品・仕入商品の需要が拡大し、国内売上高は前年同四半期実績を上回る結果となりました。他方、海外輸出売上高につきましても、玉子製品の販売抑制による影響はありましたが、販売価格見直しに加え、オセアニア、香港、シンガポールを中心に需要が拡大し、前年同四半期実績を上回る結果となりました。

生産面におきましては、歩留まり率の改善や、供給制限に合せた加工費のコントロールなどにより、製造原価率の抑制に努めましたが、当社主要原材料である鶏卵の供給制限に伴う生産稼働率への影響や、鶏卵を始めとした主要原材料価格の高止まり、原油高に伴うエネルギーコスト高騰などにより、製造原価率は前年同四半期に比べ上昇いたしました。

販売費につきましては、物流コストの低減や、その他経費執行の抑制などに努めた結果、前年同四半期並みにとどめることができました。

これらの結果、外部顧客への売上高は10,850百万円（前年同四半期比7.0%増加）となりましたが、セグメント利益（営業利益）は378百万円（前年同四半期比2.2%減少）にとどまりました。

#### ②ヘルスフード

通信販売は、広告宣伝費の抑制に加え、テレビCMなどの広告宣伝効率が低下したこともあり、売上高は前年同四半期を下回る結果となりました。一方、開発面におきましては、焙煎ごぼうを主原料としたチョコレート風の食品素材（メルバード）を開発いたしました。メルバードを使用したチョコレート風食品につきましては、クラウドファンディングサイト「Makuake（マクアケ）」において2023年11月より開始予定の先行販売に向け、準備を進めております。他方、ドラッグストアなどでの市販品につきましては、機能性表示食品「焙煎ごぼう茶キレイブレンド」、「焙煎ごぼうサプリ エラスチン+」など新製品の投入効果はみられたものの、健康茶市場の需要に一服感がみられたこともあり、売上高は前年同四半期を下回る結果となりました。

生産面におきましては、主要原材料であるごぼうが高値で推移したことや、エネルギーコストの高騰などにより、製造原価率は上昇いたしました。

販売費につきましては、減収に伴う変動費の減少に加え、Web会議の継続による出張旅費の削減、広告宣伝費をはじめとした諸経費の抑制などにより、前年同四半期以下となりました。

これらの結果、外部顧客への売上高は850百万円（前年同四半期比7.9%減少）となり、セグメント利益（営業利益）は96百万円（前年同四半期比30.3%減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ764百万円増加し25,867百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ547百万円増加し13,179百万円となりました。主な増減要因は、商品及び製品の増加380百万円、原材料及び貯蔵品の増加230百万円、その他に含まれる為替予約の増加182百万円、その他に含まれる前払費用の増加82百万円、受取手形及び売掛金の減少199百万円、現金及び預金の減少122百万円などでありま

す。固定資産は、前連結会計年度末に比べ216百万円増加し12,688百万円となりました。これは、減価償却の進行による減少もありましたが、有形固定資産において土地が増加したことや、無形固定資産においてソフトウェア仮勘定が増加したことに加え、投資その他の資産において投資有価証券や繰延税金資産が増加したためであります。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ499百万円増加し11,445百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ141百万円増加し9,879百万円となりました。主な増減要因は、買掛金の増加502百万円、賞与引当金の増加264百万円、未払法人税等の増加144百万円、短期借入金の減少800百万円などでありま

す。固定負債は、前連結会計年度末に比べ357百万円増加し1,565百万円となりました。主な増減要因は、長期借入金の増加413百万円、長期未払金の減少35百万円などでありま

す。なお、当第1四半期連結会計期間末の借入金残高は、前連結会計年度末に比べ317百万円減少し4,954百万円となっております。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ264百万円増加し14,422百万円となりました。主な増減要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加274百万円、その他有価証券評価差額金の増加57百万円、為替換算調整勘定の増加43百万円、剰余金の配当による減少121百万円などでありま

す。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.6ポイント減少し55.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の売上高は主要原材料である鶏卵の供給制限もあり、玉子製品の販売量は減少しましたが、販売価格の見直しや、その他製商品の需要拡大などにより、当初予想を若干上回る見込みで推移しております。

利益面につきましても、原材料価格高騰に伴う棚卸資産の増加や、想定以上の円安による、為替予約の時価評価益などにより、各利益とも当初予想を上回る状況で推移しており、2023年5月12日に公表いたしました2024年3月期第2四半期(累計)の業績予想を修正しております。

なお、通期の業績予想につきましては、材料費・為替・株価など先行き不透明で流動的な要素も多いことから前回予想を修正しておりません。

詳細につきましては、本日(2023年8月1日)に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,110,994	1,988,045
受取手形及び売掛金	5,791,190	5,591,484
商品及び製品	2,750,785	3,130,858
仕掛品	50,097	62,479
原材料及び貯蔵品	1,456,009	1,686,522
その他	490,200	737,118
貸倒引当金	△17,895	△17,483
流動資産合計	12,631,382	13,179,026
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,613,057	3,568,864
機械装置及び運搬具（純額）	1,768,561	1,694,157
土地	3,821,460	3,923,100
リース資産（純額）	291,534	276,415
その他（純額）	517,857	572,558
有形固定資産合計	10,012,471	10,035,096
無形固定資産		
ソフトウェア	420,467	425,584
ソフトウェア仮勘定	134,905	175,353
リース資産	32,294	28,170
のれん	16,454	12,341
その他	3,356	3,416
無形固定資産合計	607,478	644,865
投資その他の資産		
投資有価証券	646,601	728,283
長期前払費用	1,879	1,676
繰延税金資産	64,343	107,033
退職給付に係る資産	317,224	327,800
その他	869,296	892,660
貸倒引当金	△47,757	△49,197
投資その他の資産合計	1,851,589	2,008,255
固定資産合計	12,471,539	12,688,218
資産合計	25,102,922	25,867,244

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,206,420	3,708,445
短期借入金	4,030,000	3,230,000
1年内返済予定の長期借入金	438,542	508,041
リース債務	125,417	123,884
未払法人税等	30,433	175,352
賞与引当金	329,100	593,175
役員賞与引当金	—	11,790
契約負債	87,463	78,785
その他	1,489,990	1,449,592
流動負債合計	9,737,367	9,879,065
固定負債		
長期借入金	803,650	1,216,760
長期未払金	96,531	60,672
リース債務	234,353	214,482
資産除去債務	54,076	54,111
退職給付に係る負債	17,843	18,458
繰延税金負債	190	—
その他	1,500	1,500
固定負債合計	1,208,144	1,565,985
負債合計	10,945,512	11,445,051
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,102,250	1,102,250
資本剰余金	1,098,990	1,098,990
利益剰余金	11,410,608	11,563,119
自己株式	△64,426	△64,426
株主資本合計	13,547,421	13,699,933
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	163,838	221,223
繰延ヘッジ損益	△10,847	186
為替換算調整勘定	456,996	500,849
その他の包括利益累計額合計	609,987	722,260
純資産合計	14,157,409	14,422,193
負債純資産合計	25,102,922	25,867,244

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	11,201,343	11,822,183
売上原価	8,369,439	9,002,827
売上総利益	2,831,903	2,819,356
販売費及び一般管理費	2,714,941	2,678,808
営業利益	116,962	140,547
営業外収益		
受取利息	130	203
受取配当金	10,505	10,494
持分法による投資利益	13,483	21,709
長期為替予約評価益	204,760	166,947
保険返戻金	8,000	—
為替差益	47,594	54,112
その他	9,808	11,412
営業外収益合計	294,282	264,880
営業外費用		
支払利息	7,614	7,893
その他	3,118	3,917
営業外費用合計	10,732	11,811
経常利益	400,512	393,616
特別利益		
固定資産売却益	2,449	1,859
特別利益合計	2,449	1,859
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	402,962	395,476
法人税、住民税及び事業税	206,435	193,151
法人税等調整額	△57,084	△71,961
法人税等合計	149,350	121,190
四半期純利益	253,611	274,286
親会社株主に帰属する四半期純利益	253,611	274,286



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	253,611	274,286
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△676	57,384
繰延ヘッジ損益	11,386	11,034
為替換算調整勘定	96,975	35,566
持分法適用会社に対する持分相当額	26,358	8,287
その他の包括利益合計	134,044	112,272
四半期包括利益	387,655	386,558
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	387,655	386,558
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	業務用 食品等	ヘルス フード	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	10,144,060	922,885	11,066,946	134,397	11,201,343	—	11,201,343
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	137,747	137,747	△137,747	—
計	10,144,060	922,885	11,066,946	272,145	11,339,091	△137,747	11,201,343
セグメント利益 又は損失(△)	387,253	137,875	525,129	△1,203	523,925	△406,963	116,962

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その主なものは運輸業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△406,963千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△408,228千円及び棚卸資産の調整額1,264千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	業務用 食品等	ヘルス フード	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	10,850,188	850,006	11,700,194	121,989	11,822,183	—	11,822,183
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	133,765	133,765	△133,765	—
計	10,850,188	850,006	11,700,194	255,754	11,955,949	△133,765	11,822,183
セグメント利益 又は損失(△)	378,787	96,065	474,852	△9,784	465,068	△324,520	140,547

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その主なものは運輸業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△324,520千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△353,442千円及び棚卸資産の調整額28,921千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。